

第6次総合計画策定 調査特別委員会レポート

— 令和5年6月6日開催 —

詳しい資料は
議会HP



第6次総合計画策定調査特別委員会って？



総合計画はまちづくりにおける重要な計画です。

第5次総合計画の計画期間が令和5年度で終了することから、新たに第6次総合計画の策定に向けた作業を進めています。本特別委員会はその内容について集中的に調査・審議を行うために設置されたものです。今回は町側から序論から基本構想までの案について説明を受けました。

- 計画の目的
- 概要
- 策定の方法と体制
- 基本構想（案）
- 今後の策定スケジュール

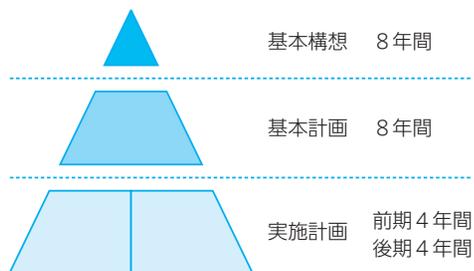
策定スケジュール

8月から10月にかけて基本計画・前期4年間の事業実施計画を策定。
定例会12月会議での提出を予定。

総合計画とは

「町民」、「議会」、「役場」がお互いに協力し、協働のまちづくりを進めていくための最も重要な計画です。

総合計画の期間は8年間となっております。第6次総合計画は令和6年～13年です。



町民の参画

幅広い町民の意見や提案を反映した計画にするため、住民意識調査、中高生アンケート、関係団体からのヒアリング、パブリックコメントを実施し、策定段階における町民参画を推進しています。パブリックコメントは今後実施予定です。

※ヒアリング：意見の聴き取りと説明を兼ねた会議、聞き取り調査

※パブリックコメント：政策等の策定途中で、計画等の素案を公表し、それに対して意見、課題、問題点、情報等を受け付け、提出された意見等を考慮して政策等を決定していき、寄せられた意見に対する町の考え方を公表する制度

Q&A 主な質問・意見と回答



問 SDGsへの対応は？

町の施策とSDGsの関係性を明確にして計画に載せる場合、具体的な目標値の設定なども必要になってくると思うが、どのように考えているのか。

答 町民に考え方を周知する

SDGsは国際的な目標であり、例えば「貧困をなくそう」といった大きな目標となっているため、具体的な目標値の設定までは考えていない。

意 SDGsへの理解について

SDGsに対する理解はまだまだ十分とはいえない。具体的に進める部分については、町民に対して繰り返し分かりやすく説明すること。

答 周知のためにも計画に盛り込む

SDGsという言葉自体は新聞やテレビで目にしていると思うが、まだ十分な認知はされていないと考えている。町の中にもSDGsにするものがあるということを知周知の意味も込めて今回の計画に掲載する。

意 資料の中にカタカナ用語が多い

「サプライチェーン」や「ブラッシュアップ」など、なじみの薄い言葉については日本語への言い換えや、用語解説ページを作るなど、わかりやすい資料づくりの工夫を。

答 わかりやすい資料作成に努める

「該当ページに注釈を入れる」、「解説用のページを確保する」いずれかの方法でわかりやすい計画書にしていきたいと考えている。

※サプライチェーン：製品の原材料・部品の調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの流れ
ブラッシュアップ：より良くする、磨きをかける、完成度を高める

【委員会意見中間報告】

計画策定にあたって示された資料等を見ると、カタカナ用語を多用している印象を受ける。町民が理解しづらい用語については、用語の解説を追加する等の工夫が必要であると考えるため検討願いたい。

町の施策分野とSDGsとの関連性について掲載するにあたっては、取組み方法の目標設定等が必要となると考えられるため、町が取り組む部分、町民が取り組む部分、協働で対応していく部分等について対応を連動させる仕組みを整理していくよう検討願いたい。